45 01 09 01 03 003

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	消防通信指令事業	担当課	指令課	担当係	第一指令係	管理番号	4517
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり	根拠法令個別計画等	電波法令				
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	指令システムの機能保全を図るため、各施設・設備の保守点検及び維持管理を充実させ、市民からの通報に対して迅速な災害現場の把握や各出場隊への的確な指令運用を行うものである。
目的 ※何のために	迅速な災害現場の把握、各出場隊への的確な指令運用の充実。
対象 ※誰・何を対象に	消防通信指令に係る各施設・設備。
手段 ※どのように	保守点検及び施設の維持管理を行う。
成果 ※何を求めるか	指令システムの機能保全。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防通信指令事業	35,494,105
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ １１９番受信と各種災害指令及び無線通信運用	・ 対象物調査と住基データ更新
・ 保守点検（システム・デジタル無線）業務委託	・ 住民への医療機関情報提供
・ 各指令設備及び無線設備維持管理	・
・ 位置情報通知システム（統合型ＮＴＴ固定電話）業務委託	・
・ 無線再免許と無線従事者及びＮＥＴ１１９運用	・
・ 携帯・ＩＰ・固定局発信者情報照会件数の集計管理	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		指令システム保守点検	指令システム保守点検	指令システム保守費	指令システム保守点検	指令システム保守点検	指令システム保守点検
			指令システム通信費	指令システム通信費	指令システム通信費	指令システム部材交換	指令システム部材交換
				三者間多言語通訳システム導入	Ｎｅｔ１１９導入	指令システム部分改修費	指令システム部分改修費
事業費	予算（現額）	19,668,000	30,617,000	33,451,000	36,867,000	106,092,000	44,653,000
	決算額	19,261,402	30,292,147	32,837,205	35,494,105	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	3,070,000	7,158,000	6,328,000	8,070,000	0	9,500,000
	一般財源	16,191,402	23,134,147	26,509,205	27,424,105	0	35,153,000
人件費	従事職員数（人）	4.10	3.70	3.70	3.70	3.70	3.70
	人件費相当試算 ※１	31,893,900	28,793,400	29,085,700	30,103,200	30,103,200	30,103,200
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		51,155,302	59,085,547	61,922,905	65,597,305	30,103,200	74,756,200

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	指令システム保守点検	目標値	回	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	□
			実績値		1.00	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指令システムを安定的に機能させるため、年２回の保守点検を目標とする。							
		保守点検回数			１	２		２			
■	成果指標１	通報支障回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１１９番を支障なく取得するのが目的であることから０を目標とする							
		支障回数			０	０					
■	成果指標２	１１９番取得率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１１９番通報の１００%取得を目標とする							
		取得数／総受信数			１２，４７２	１３，１５０	１３，１５５	１１．７３３			
□	効率指標１	１１９番受信１件費用	目標値	円							■
			実績値		1,544.00	2,303.00	2,496.00	3,025.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		緊急電話のため、一件当たりの費用について目標値の設定は出来ない							
		総事業費／総受信数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 指令システムを２４時間３６５日支障なく稼働させ、市民からの通報に対して、迅速、確実に災害現場を把握、的確な指令運用が行えた。また、今後も職員のスキルアップを図るとともに、指令システムの効率的なデータ更新を継続、指令システムの機能保全を実施していきたい。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 指令システムを滞りなく稼働させるため、職員による日常点検及び業務委託による２４時間３６５日対応可能な保守管理を行い、迅速、確実に市民からの災害通報に対応できた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 緊急通報のため、１１９番通報１件の費用として参考数値としている。
		評価者　指令係長　永野　剛

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	指令システムの機能を最大限発揮するため、施設や設備等の保守点検及び維持管理の充実、防火対象物調査等の更新を行う。
達成状況 及び その効果	指令システムの保守点検等、防火対象物実態調査等を実施し、住基データ等の定期更新を図り災害発生場所を迅速、確実に対応できた。 ＮＥＴ１１９を導入し、日ごろから取り扱い訓練を実施した。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防通信指令事業	担当課	指令課	担当係	第一指令係	管理番号	4517

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

指令システムの管理、保守点検、未確定な地点を調査し指令システムに取り入れた事により、出場指令を迅速に行えた。また、ＮＥＴ１１９を導入することで、聴覚障碍者に対しての通報にも対応し出場指令を迅速に行えた。通報内容により傷病者に対しての有効な処置指導も行えた。

評価者	指令課長　小久保　親一

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

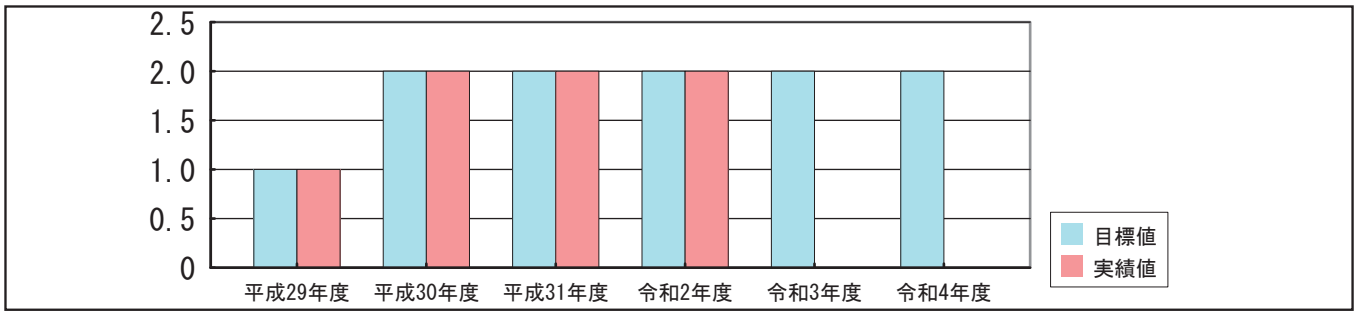
改善・改革案	指令システムの部分更新を行い、良好なシステムの維持管理を引き続き実施していく。市民に対しＮＥＴ１１９説明会の実施する。指令業務について消防長査閲を実施する。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

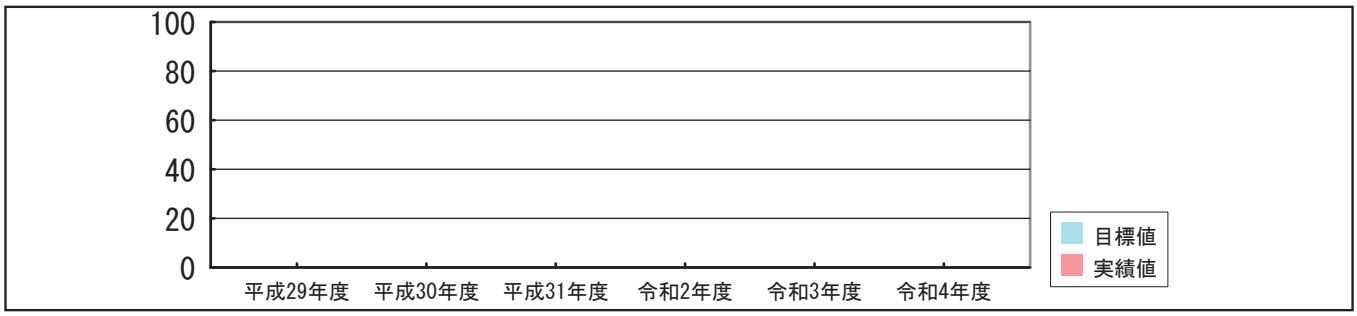
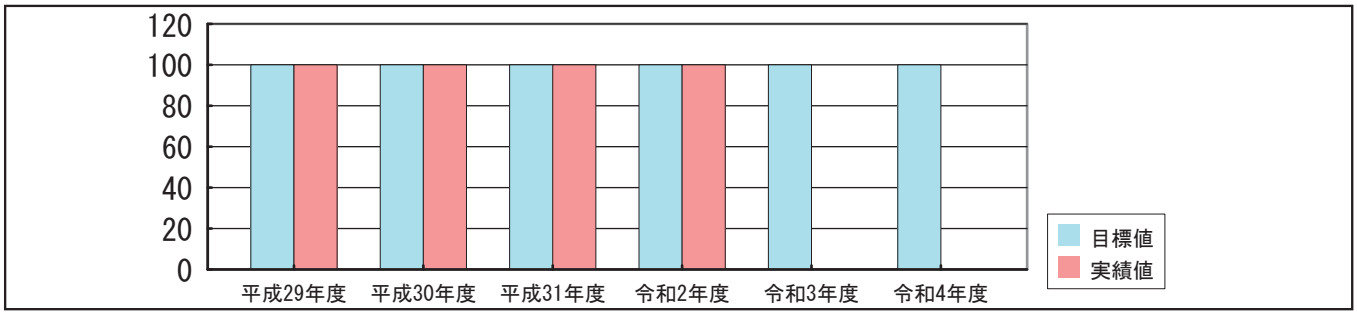
今後の課題	指令システムの部分更新を行うことによる、一部機能向上による指令課員の操作スキル向上。ＮＥＴ１１９説明会における事前周知、時期について検討。消防長査閲実施についての実施内容・時期について検討。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	指令システム保守点検



区分	成果指標１	指標名	通報支障回数



区分	成果指標２	指標名	１１９番取得率